

花ちゃん・オー君・モンタ博士のかくかくドキドキ立ててく2

国立市立国立第七小学校

平成26年11月14日 NO.57 (157)



オー君 「モンタ^{はかせ}博士！イチョウって、どうしてイチョウという^{なまえ}名前なの。」

モンタ博士 「そうだね。^{なまえ}名前から^{しら}調べるといいことだね。でも、^{きょう}今日は^{ふたり}二人でインターネットなどで^{しら}調べてごらんよ。モンタ博士はギンナンを^た食べる^{ようい}用意をしておくからね。それじゃ、がんばってね。バイバイ。」

花ちゃん 「あれ？モンタ^{はかせ}博士がいなくなっちゃった。でもまかせといて。この花ちゃんは、パソコンの^{たつじん}達人・^{めいじん}名人ですからね。」

オー君 「えーと。それでは、イチョウの^{なまえ}名前のいわれからだよ。」

花ちゃん 「あ！ある・ある。^{なになに}何々。イチョウの^は葉の^{かたち}形が^{あし}カモの足に似ていることから、^{ちゅうごく}中国では『鴨脚』と書いて『ヤーチャオ』とよばれ、それがなまって、イーチャオ、イチャオ、イチョウ・・・とよばれるようになったらしいわ。」

オー君 「ふーん。だじゃれみたいで、けっこうムリがある^{かん}感じだね。まあいいか。

それじゃ、次にギンナンには、どんな栄養があるかだ・・・。」

花ちゃん 「ふむふむ、たんぱく質やアミノ酸をバランスよくふくむ栄養価の高い食品と書いてあるわ。でも、ちょっとまって、メチルピリドキシン？という中毒物質がふくまれているそうよ。」

オー君 「たんぱく質？アミノ酸？メチルピリドキシン？なんだそりゃ？」

花ちゃん 「うーん。むずかしいね。わたしもチンプンカンプン？」

オー君 「つまり、ギンナンをあまりたくさん食べすぎてはいけないということなんだろうね。」

花ちゃん 「あれあれ、ちょっとまって、ギンナンがたくさん取れる年があるんだわ。」

オー君 「何だって？。どういうこと？年によってちがいがあがる？」

花ちゃん 「イチヨウには、大量にギンナンをつける『表年』と、ギンナンがあまりつかない『裏年』とがあるそうよ。ふむふむ。なるほど。ギンナンをつけることで栄養をとられたために、豊作(たくさんとれること)の次の年は、不作(あまりとれないこと)になるんだわ。」

オー君 「なるほど。そういうことか。」

花ちゃん 「それから、今年が表年なのか裏年なのかは、一本一本の木によってちがうそうよ。今年のイチヨウは、どっちだろうね。」

オー君 「そうだね。たくさんギンナンが落ちてきているというのは、今年が表年だということじゃないかな。そう、たぶん、表年だよ。あ！ちょっとまって。表年とか、裏年とかは、ギンナンだけにいえることなのかな。」

花ちゃん 「そうか、今年がカキの実りがいいなあとか、今年がクリの実りが今一だったなあとか、わたし、聞いたことがあるわ。」

オー君 「そうだよ。花ちゃん。表年とか裏年というのは、リンゴやブドウ、それから、ミカンなどでもいえることなんだね。」

花ちゃん 「そうね。今度、モンタ博士にも聞いてみましょうね。あれ？あっちから走ってくるのは、モンタ博士みたいですね。」

モンタ博士 「おーい、花ちゃん。おーい、オー君。見つけたぞ。見つけたぞ。これこれ！」

オー君 「あれ、モンタ博士が何かを発見したみたいだね。」

花ちゃん 「手に何かプリントを持って走ってくるわ。」 つづく・・・